

# リストの作成手順 (案)

## <ステップ①>

- ・対象事業等の基準を作り、行政経営課が係長級等を対象に「廃止・縮小・見直し」をすべき事業等を調査しリスト案を作成

## <ステップ②>

- ・ステップ①を取りまとめたリストをプロジェクトチームにより審議（P10参照）

## <ステップ③>

- ・案について事業等の担当課の意見を付してリスト化

## <ステップ④>

- ・理事者協議を踏まえ行政システム改革推進本部会議で報告

## <ステップ⑤>

- ・精査した内容を市長まで承認いただきリストの完成



## <ステップ⑥>

- ・市議会全員協議会において事業等の所管の全部長級が出席して説明

## <ステップ⑦>

- ・行政システム改革推進委員会へ報告

## <ポイント>

-  リストに記載された事業等については、**全職員が共通認識を行う**
-  リストにより廃止する事業等については、**原則、代替事業を作らない**

# 🌟🌱🌿 リストの作成とともに検討すべき事項 (案)

## ～リストによる事業の見直し等が徹底されるように～

(ただし、前提として「廃止、縮小、手法の見直し」を検討したうえで方向性が変わる可能性があることはやむを得ない。)

👉 リストに記載された事業等は**全職員が一丸となりスクラップ等の徹底**を図る

👉 事業の廃止や縮小を行う場合は、原則、**代替事業を作らない**

⇒代替事業を作ると事業の削減が進まなくなる

☆代替事業の定義の整理が必要：より効果的な手法の見直しは代替事業とは呼ばない等について市職員や議会において共通認識する必要がある。

👉 **市議会に対して、どのように説明**していくのかを検討する必要がある

⇒総論は賛成でも各論は反対されるケースが多い

## ～事業の見直し等が継続して実施されるように～

👉 草津市では、時代の流れや変化に適した市民サービスを提供するため、その財源や人手を捻出することを目的とした**事業の見直し等が頻繁に検討、実施されるという機運を行政および市議会、市民等へ浸透させていく**必要がある

👉 ボトムアップによる事業の見直し等も進むように、**人事評価制度を見直す**必要がある

⇒既存事業の見直し等を行うことは、新規事業を実施することよりも労力を要すると想定されることから、率先して実施している所属や職員を明確に評価するようなインセンティブを検討すべき

# スクラップロードマップの進捗管理について

## <これまでのスクラップロードマップの進捗管理手法について>

①対象事業等について、行政経営課から各担当課へ前年度の検討内容や見直し結果、また今年度や来年度以降の計画に変更がないかを照会



②照会に対する回答結果を基に、行政経営課から各課へヒアリングを実施



③ヒアリングした結果を理事者まで説明し、了承いただいた計画等を資料として整理



④市議会へ資料提供（ポスティング）  
※取組開始初年度（平成29年度）のみは市議会全員協議会で説明

業務見直し工程表（スクラップロードマップ）の当初計画

見直し区分	縮小	スクラップロードマップ対象事業等の該当基準	①	
項目名	No.17 広報くさつ発行事業	担当課 広報課	掲載条件等	豊津市広報紙の発行に関する規則
事業内容	市の行政施策や行事などを市民の啓蒙に紹介する広報誌として、年2回発行している（月2回（1日・15日号、1月1日と8月15日は休刊））。		事業開始の背景等	市の行政施策や行事などを市民の啓蒙に紹介するため、広報誌が手に入りやすく読みやすい紙媒体での行政広報は、全国の自治体でも導入されており、行政情報発信ツールとして、有益である。
H30予算額（千円）	33,238	事業の開始時期 不明	終期設定がある場合の終期	-
実績				
	H27	H28	H29	3年平均
利用人（件）数	58,300	59,700	66,000	59,333.3
歳出実績額（千円）	30,032	29,649	28,184	29,288.3
歳入実績額（千円）	4,224	4,224	4,224	4,224.0
見直しに係る背景等	インターネット環境の整備が進んだことで、ホームページやSNSの普及が急速に進み、市民の情報受信ツールが、紙媒体以外に多様化している。			
当初の見直し予定内容	<見直し検討内容> より見やすく・読みやすく・楽しめる広報紙とするため、広報くさつの運用変更を検討する。 ①発行回数 月2回→月1回（一度に届ける情報量を増やす） ②全ページのカラー化や内容の充実等のわかりやすい紙面づくり ③市民との接点の促進（市民レポーターの積極的な活用等） ④他のコンテンツの充実 <期待される効果等> ①広報紙配布にかかる町内会役員負担が減る。 ②一度に届ける情報量が増え、作りこみができ、紙面の質が上がる。			
当初の見直しに係る実施計画				
H29年度		H30年度		R1年度
見直し分析・調査		庁議・議会調整等		運用等詳細の整理
				周知期間
				月1回化スタート



進捗管理表

実績	H30	歳出額/枚 単円単位	H30年度の見直し検討結果	効率的な情報発信が可能となるよう広報紙の改善をはじめ、業務の見直しや庁内協議を進めてきた。その結果、関係団体との調整にさらなる時間を要することから、広報紙の月1回化の開始時期を繰り延べることとなった。
利用人（件）数	60,600	641		
歳出実績額（千円）	32,881			
歳入実績額（千円）	4,224	70	見直し内容の変更の有無	有り
変更が必要となった理由	関係団体との調整にさらなる時間を要するため			
予算	H31	歳出額/枚 単円単位	変更後の見直し内容	広報くさつ発行月1回化の実施を令和2年度から令和3年へ繰り延べた。
利用人（件）数	61,000	526		
歳出予算額（千円）	32,258			
歳入予算額（千円）	4,224	69		
見直し実績				
H29年度		H30年度		R1年度
見直し分析・調査		・庁内協議 ・紙面の効率化（お知らせ記事の三列化等）		・関係課調整 ・運用等詳細の整理
		（まちづくり協議部） ・行政事務委託に係るアンケート実施		（まちづくり協議部他） ・配布物に係る調整、関係団体調整
				周知期間
				R3年度月1回化スタート